

# 第4回福祉用具専門相談員研究大会

## 開催案内

【テーマ】

持続可能な介護保険制度に向けた

福祉用具サービスの役割

～ 福祉用具サービスにおける科学的な介護の実践 ～

2023年6月22日（木）

会場：KFCホール（オンライン併用）

## 大会長メッセージ

福祉用具専門相談員研究大会も今回で4回目となりました。手探りの中、研究大会の意義を参加者全員が確信した第1回を皮切りに、コロナ禍の中、ハイブリッド方式を活用してより多くの福祉用具関係者が参加できるように第2回、第3回と大会運営についても改善が図られてきました。

第4回研究大会のテーマは「持続可能な介護保険制度に向けた福祉用具サービスの役割」（福祉用具サービスにおける科学的な介護の実践）であります。本年は、2024年の介護報酬、診療報酬同時改定に向けた一番重要な年となります。そして介護報酬改定の一番重要なテーマが制度の持続性を担保するための改定だということです。福祉用具レンタルサービスは、人手を借りずに、自分の残された能力を最大限活用して、自分の好きなことを好きなタイミングで行うことを支援するサービスです。そして転倒等を抑制することにより、ご利用者の重度化を抑制するサービスです。家族の介護負担を少なくするサービスです。人手不足が大変大きな問題となっている介護業界において、唯一の人手不足を補完するサービスです。福祉用具レンタルサービスは、介護保険給付居宅サービス費用総額に占める割合が7%ながら、サービス受給者数は全体の60%に達し、ケアプラン作成を除くと最も多くの方々にご利用いただいているサービスです。だからこそ、介護保険制度の持続性を担保するためには、福祉用具の更なる活用が求められていると考えます。一方で、我々業界にとりまして、必要な用具を必要なタイミングで供給できているか、科学的なデータをもとにさらなる改善を図っていくことが求められています。今回の研究大会を通じて、より効率的なサービスそしてより有効なサービスを提案できる専門相談員の育成の一助になることを期待して大会長挨拶とさせていただきます。

第4回福祉用具専門相談員研究大会 大会長 小野木 孝二

# 1. 第4回福祉用具専門相談員研究大会 開催概要

## 【日程】

2023年（令和5年）6月22日（木）

## 【会場】

KFC（国際ファッションセンター）ホール ※オンライン併用  
東京都墨田区横網1-6-1

## 【主催】

第4回福祉用具専門相談員研究大会 実行委員会

## 【共催】

- （一社）日本福祉用具供給協会（日福協）
- （一社）全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）

## 【大会組織】

大会長	小野木 孝二	（日本福祉用具供給協会）
副大会長	記虎 孝年	（関西シルバーサービス協会）
大会顧問	幸田 正孝	（元 厚生省事務次官）
	山内 繁	（支援技術開発機構 理事長）
実行委員会		
委員長	米本 稔也	（フランスベッド株式会社）
委員	千葉 博	（株式会社サカイ・ヘルスケア）
	肥後 一也	（株式会社カクイックスウィング）
	安居 寛道	（株式会社トーカイ）
	古沢 林太郎	（ " ）
	中村 一男	（全国福祉用具専門相談員協会）
	川口 隆	（ " ）
	福島 伴彦	（ " ）
	柳田 磨利子	（ " ）
	池本 和樹	（ " ）
	伊藤 広成	（日本福祉用具供給協会）
	淡路 陽子	（ " ）
運営協力	小林 毅	（日本医療科学大学）
顧問	酒井 博人	（総合メディカル株式会社）
倫理委員会		
委員長	白澤 政和 氏	（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野 教授）
委員	中村 一男	
	池本 和樹	
査読委員会		
委員長	東畠 弘子 氏	（国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 教授）
委員	肥後 一也	
	川口 隆	
	池本 和樹	

## 【後援】（予定）

厚生労働省、東京都福祉保健局

（一社）回復期リハビリテーション病棟協会、（公社）関西シルバーサービス協会、  
（一社）こうしゆくゼロ推進協議会、国際医療福祉大学大学院、姿勢活動ケア研究会  
（一財）JASPEC、（一社）シルバーサービス振興会、（公社）全国国民健康保  
険診療施設協議会、（一社）全国デイ・ケア協会、全国福祉用具相談・研修機関協  
議会、（公社）全国老人福祉施設協議会、（公社）全国老人保健施設協会、（公  
財）テクノエイド協会、（特非）東京都介護支援専門員研究協議会、（一社）ナチ  
ュラルハートフルケアネットワーク、（公社）日本医師会、（一社）日本介護支援専  
門員協会、（公社）日本介護福祉士会、（一社）日本義肢協会、（公社）日本義肢装  
具士協会、（一社）日本車椅子シーティング協会、（一財）日本車椅子シーティ  
ング財団、（一社）日本ケアマネジメント学会、（一社）日本言語聴覚士協会、（一  
社）日本在宅介護協会、（一社）日本作業療法士協会、（公社）日本社会福祉士会、  
（一社）日本褥瘡学会、（一社）日本生活支援工学会、（一社）日本ノーリフト協  
会、（一社）日本福祉用具・生活支援用具協会、（公財）日本訪問看護財団、（公社）  
日本理学療法士協会、（公社）日本リハビリテーション医学会、（特非）日本リハ  
ビリテーション看護学会、（一社）日本リハビリテーション工学協会、（一社）日  
本リハビリテーション病院・施設協会、福祉用具プランナー研究ネットワーク

※50 音順

## 【プログラム】（予定）

### 『第一会場：3階 KFCホール』

- ・受付開始 9:15 ~
- ・開会式 10:00 ~ 10:30  
大会長挨拶  
来賓挨拶
- ・特別講演 10:30 ~ 11:30  
座長：小野木 孝二 大会長  
講師：田中 滋 氏  
公益大学法人埼玉県立大学 理事長  
慶応義塾大学 名誉教授
- ・演題発表 12:40 ~ 15:50
- ・シンポジウム 16:10 ~ 17:20
- ・閉会式 17:20 ~ 17:30

### 『第二会場：11階 Room 1 1 1』

- ・ランチオンセミナー 11:40 ~ 12:20
- ・演題発表 12:50 ~ 15:50

### 『第三会場：11階 Room 1 1 3』

- ・ランチオンセミナー 11:40 ~ 12:20
- ・演題発表 12:50 ~ 14:05
- ・老健事業報告 14:25 ~ 15:35

### 『2階 KFCホール 2nd』

- ・懇親会 17:45 ~ 19:15

## 【演題発表座長】

- ・山下 陽子 氏  
(アルジョ・ジャパン株式会社マーケティング部クリニカルトレーナー、  
元厚生労働省老健局振興課福祉用具・住宅改修指導官、作業療法士)
- ・勝平 純司 氏  
(東洋大学福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科教授)
- ・高砂 裕子 氏  
(一般社団法人南区医師会 居宅介護支援センター管理者)
- ・淵上 敬史 氏  
(株ウイズ ASチーム課長、福祉用具専門相談員・作業療法士)
- ・畠山 浩 氏  
(エイジライフ(株) 営業部統括課長、福祉用具専門相談員)

## 2. 発表者募集要項 ※受付を終了しました。

### 【募集内容】

口述発表 35組程度（個人又はチーム）

### 【応募要件】

- ・ 日福協会員所属または、ふくせん会員の福祉用具専門相談員であること  
 ※個人、事業所またはチームでの応募が可能です。  
 ※チームでの応募の場合、筆頭の発表者は日福協会員所属またはふくせん会員の福祉用具専門相談員である必要がございます。共同演者には、他職種（介護支援専門員、作業療法士、理学療法士等）や、福祉用具メーカー（但し、日福協会員またはふくせん賛助会員に限る）の登録が可能です。  
 ※上記以外の発表者形式をお考えの場合は事務局までお問合せください。
- ・ 別途、大会長または副大会長が推薦する者

### 【発表内容】

大会テーマに沿って、以下の発表を募集します。

テーマ区分	関連キーワード	
テーマ1（口述発表4） 科学的な介護の実践	福祉用具の利用効果	アセスメント
	ADL・QOLの維持改善	モニタリング
	評価スケール（BI・FIM等）	住環境整備
	PDCAサイクルの推進	科学的介護情報システムLIFE
テーマ2（口述発表2） 福祉用具安全利用に向けた取組	事故防止・再発防止の取組	ヒヤリ・ハット対応
	事故対応	アセスメント
	多職種・自治体との連携	モニタリング
	安全講習会・研修会	メンテナンス
テーマ3（口述発表1） 効果的な福祉用具の利用促進、 福祉用具メーカーとの連携・協働	居宅でのデータ採取	介護ロボット・先端テクノロジー
	製品開発	新種目・区分の開拓
	製品安全	ICT化
	社会実装・実証	感染症対策
テーマ4（口述発表5） 地域・多職種連携・事業所の 取組	退院・退所前カンファレンス	地域ケア会議
	チームアプローチ	福祉用具の啓発
	人材育成	生産性向上
	災害・感染対応（BCP）	自治体との連携
テーマ5（口述発表3） 経験3年未満相談員の福祉用具 導入事例（チャレンジ発表）	自立支援	介護負担軽減
	介護予防	困難事例対応
	ADL・QOLの維持改善	自己研鑽の取組
	住環境整備	感染症対策

※関連キーワードは演題作成にあたっての参考であり、全てのキーワードを網羅する必要はありません。

※テーマ1の「福祉用具メーカーとの連携・協働」部分で、福祉用具メーカーが福祉用具貸与事業所（福祉用具専門相談員）に対して連携の働きかけをご検討の場合で、連携先にお困りの場合は事務局までお問合せください。

※テーマ3の「経験3年未満」とは、発表申し込み時点での経験年数といたします。

**【演題登録料】** 無料（研究大会当日の参加費及び弁当も無料といたします）

**【演題の二次使用权について】**

演題（抄録）の二次使用权・許諾権は日福協及びびふくせんに帰属します。

**【発表方法】**

- ・ パワーポイントを使用して発表して頂きます。
- ・ 発表後、質疑と座長コメントの時間がございます。
- ・ 制限時間については、発表 7 分・質疑 3 分を原則とします。
- ・ 発表する場所は、現地会場又はオンラインを選択できます。

**【募集期限】**

発表エントリー 2023 年 1 月 31 日（火）

抄録原稿提出 2023 年 2 月 28 日（火）

**【演題発表までの流れ】**

- ①発表エントリーを行います。（〆切：2023/1/31）
- ②抄録原稿の書き方に関する動画を2月上旬に視聴します。（別途個別案内）
- ③抄録原稿を提出します。（〆切：2023/2/28）
- ④抄録原稿に基づき、倫理・査読審査、選考が行われ、審査結果が応募者に返答されます。（2023/3/下旬頃）
- ⑤スライドの作り方に関する動画を4月上旬に視聴します。（別途個別案内）
- ⑥選考を通過した方は発表資料（パワーポイント）を作成し提出します。（〆切：2023/5/15）

※この段階で、発表する場所（会場又はオンライン）の希望をお伺いします。

**【発表エントリーフォーム】**

<https://forms.gle/ejfWsnEGR5Qu6VoM6>



**【抄録原稿の提出について】**

別紙 1 「抄録原稿」に記入してご提出ください。抄録原稿の記入にあたっては、別紙 2 を参考にしてください。（別紙は削除しました）

審査を通過した抄録原稿は、抄録集として参加者へ配布されます。

**【倫理的配慮について】**

利用者等のプライバシー保護の観点から倫理的配慮について、本研究大会倫理委員会が確認を行います。研究の計画・実行・分析・抄録作成の過程では、個人の尊厳、人権の尊重に最大限の配慮をお願いします。抄録原稿様式において、具体的にどのような方法で倫理的配慮を行ったかを記述していただきます。原則として書面にて同意を得るものとします。

## 【申し込み から 当日までの流れ】

### 流れ①申し込み

【申込者】



発表エントリー※1



【事務局】



発表エントリー受付

【発表エントリー期日】

1月31日（火）

【申込者】



抄録原稿提出 ※1



【事務局】



抄録原稿受付

【抄録原稿提出期日】

2月28日（火）



【審査委員会】

倫理委員会

倫理審査

査読委員会

査読審査

選考審査

【事務局】

審査結果発送

【申込者】 ↓ 3月下旬頃



審査結果確認 ※2

### 流れ②資料作成～提出

【申込者】



パワーポイント作成

パワーポイント提出

【パワーポイントデータ提出期日】

5月15日（月）

【事務局】 ↓



パワーポイント受付

【審査委員会】倫理委員会

倫理審査



### 流れ③当日

現地発表・オンライン発表

【事務局】



映写

オンライン接続

※第1～3会場とも

【申込者】



演題発表

※審査結果が発表可能であった場合に、流れ②へ進みます。その際にパワーポイント作成にあたっての注意事項等をお知らせすると共に、発表する場所（会場又はオンライン）の希望をお伺いします。



### 3. 参加募集について **※受付を終了しました。**

本研究大会への参加を広く募集いたします。参加は、現地とオンラインが選択可能で、詳細については以下の通りとなります。尚、現地会場ではランチオンセミナーやメーカーによる出展、懇親会の開催を予定しております。奮ってお申し込みくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 【参加人数】

現地会場定員目安：約 350 名（先着順）

オンライン参加可能人数：制限なし

【参加費用】※現地参加、オンライン参加とも同じです。

#### 事前（割引）申込【5月31日までのお申し込み】

日福協、ふくせんいずれかの会員および賛助会員：1名3,000円（税込）

非会員：1名5,000円（税込）

※現地参加の方は、大会当日に抄録集をお渡しします。

※オンライン参加の方は、大会前日までに抄録集をお送りします。

#### 直前申込【6月1日から6月16日までのお申し込み】

ふくせん、日福協いずれかの会員および賛助会員：1名5,000円（税込）

非会員：1名10,000円（税込）

※事前（割引）申込と同様に抄録集をお渡ししますが数量に限りがございます。

先着順となります事を予めご了承ください。

#### 抄録集冊子のみの購入

抄録集冊子代：1冊2,000円（税込、送料込）

#### 【昼食について】

- ・ 会場指定以外の弁当をホールへ持ち込むことは禁止となっております。
  - ・ 会場指定の弁当（お茶付税込1,000円）はホールにて飲食可能ですので、参加申込時にご予約ください。又は、会場周辺の飲食店を各自ご利用ください。
- ※ 弁当をお申し込み後、キャンセルされる場合は6月9日までに事務局までご連絡ください。それ以降のキャンセルは返金できかねますので予めご了承ください。

#### 【ランチオンセミナーについて】

ランチオンセミナーとは、セミナー主催者（協賛社）が受講者の昼食（弁当・お茶）を無償で提供し、受講者は弁当を召し上がりながら商品プレゼン等のセミナーを聴講いただくものです。今大会では、ランチオンセミナーを2会場で開催いたします。参加申込時にご予約ください。（次ページに続く）

- ・ランチョンセミナー① ※定員に達したため受付を終了しました。

時 間：11:40～12:20

場 所：11階 Room 1 1 1

演 題：「幸せに暮らすための食べる支援」

講 師：小山 珠美 氏（NPO法人 口から食べる幸せを守る会 理事長）

共 催：シーホネンス株式会社

定 員：80名（定員になり次第、受付を終了します）

- ・ランチョンセミナー② ※定員に達したため受付を終了しました。

時 間：11:40～12:20

場 所：11階 Room 1 1 3

演 題：「介護保険福祉用具・住宅改修検討会の22年」

講 師：山内 繁 氏（NPO法人支援技術開発機構 理事長）

共 催：パラマウントヘルスケア総合研究所

定 員：72名（定員になり次第、受付を終了します）

### 【懇親会について】 ※定員に達したため受付を終了しました。

立食形式の懇親会を開催いたします。懇親会についても、参加申込時にご予約ください。

時 間：17:45～19:15

場 所：KFCホール 2nd

会 費：5,000円

定 員：80名（定員になり次第、受付を終了します）

※ お申し込み後キャンセルされる場合は6月9日までに事務局までご連絡ください。それ以降のキャンセルは返金できかねますので予めご了承ください。

### 【申し込みについて】

各種申込については以下フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/4b5qxNSersU5Fqik9>



※通常（割引）申込締切は5月31日（水）とさせていただきます。

締切日を過ぎての申込は直前申込扱いになりますことをご注意ください。

※団体（10名以上）でお申し込みされる際は以下のURLよりexcelファイルをダウンロードしていただき、ご記載の上事務局までお送りください。

[https://www.zfssk.com/sp/1912\\_research/form\\_group.xlsx](https://www.zfssk.com/sp/1912_research/form_group.xlsx)

## 4. 協賛募集について ※受付を終了しました

本研究大会では、ご協賛いただける法人様を募集いたします。  
 詳細につきましては、以下のとおりとなります。

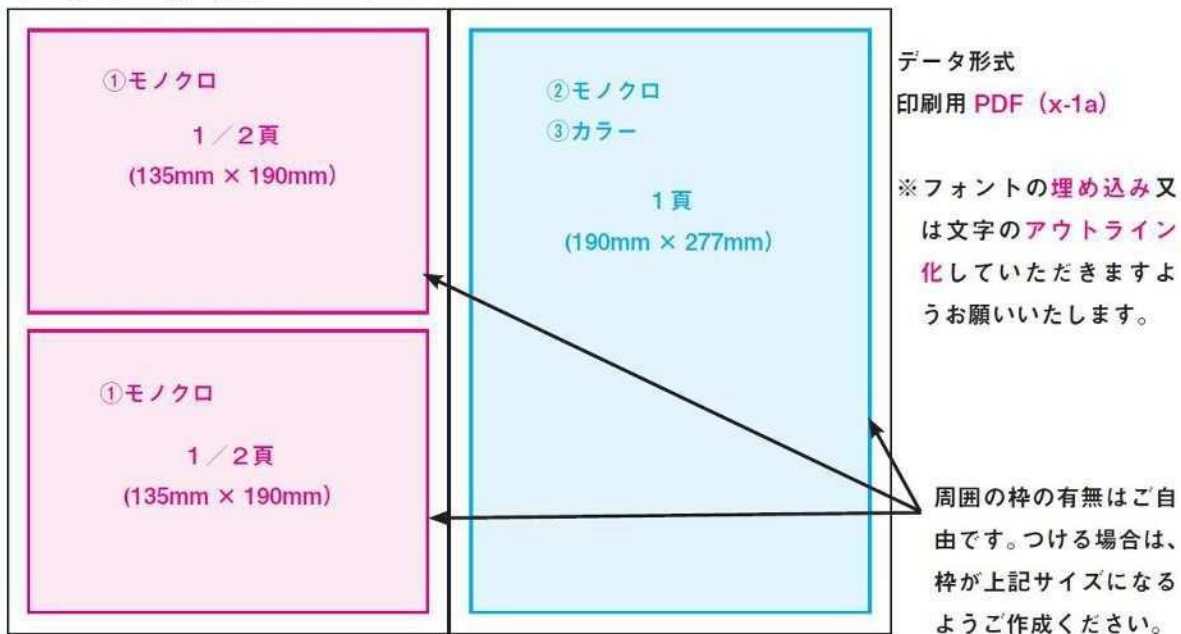
### (1) 広告協賛（抄録冊子）

No.	仕様	枠数	協賛金（税込）	
			会員※1	非会員
<del>募集終了</del> 1	<del>表4：カラ A4サイズ（190mm×277mm）※2</del>	<del>1枠</del>	<del>150,000円</del>	<del>300,000円</del>
<del>募集終了</del> 2	<del>表2：カラ A4サイズ（190mm×277mm）※2</del>	<del>1枠</del>	<del>100,000円</del>	<del>200,000円</del>
<del>募集終了</del> 3	<del>表3：カラ A4サイズ（190mm×277mm）※2</del>	<del>1枠</del>	<del>100,000円</del>	<del>200,000円</del>
<del>募集終了</del> 4	<del>抄録内：モノクロA4サイズ（190mm×277mm）</del>	<del>—</del>	<del>50,000円</del>	<del>100,000円</del>
<del>募集終了</del> 5	<del>抄録内：モノクロA4 1/2サイズ（135mm×190mm）</del>	<del>—</del>	<del>30,000円</del>	<del>60,000円</del>

※1：「会員」とは日福協、ふくせんいずれかの正会員および賛助会員を指します。

※2：表4とは裏表紙、表2とは表紙を開いた裏側（内側）、表3とは裏表紙の裏側（内側）を指します。

抄録集（A4判）広告頁レイアウトイメージ



### (2) 展示協賛 ※3 ※4

展示場所は、ホールへ入場する動線上にあるホワイエを区画して10枠を設定いたしました。当日は多くの方にご覧いただける場所となりますので、ふるってお申込みください。

No.	仕様	枠数	協賛金（税込）	
			会員	非会員
<del>募集終了</del> 6	<del>250cm×250cm 展示協賛（電源有）</del>	<del>10枠</del>	<del>70,000円</del>	<del>140,000円</del>

※3：先着順とし、展示ブースの位置は申し込みいただいた順に事務局で割り振らせていただきます。  
 ホール及びホワイエ（出展スペース）のイメージは以下リンクをご参照ください。

[https://www.fukushiyogu.or.jp/prg\\_data/upfile/FU\\_1668497830.pdf](https://www.fukushiyogu.or.jp/prg_data/upfile/FU_1668497830.pdf)

また、出展されるスタッフ用の昼食弁当（2名まで）をご用意いたします。

※4：広告協賛と併せてお申し込みいただきますと、20,000円を割引いたします。



### (3) ランチョンセミナー協賛 ※5

募集終了

募集終了

No.	仕様	枠数	協賛金(税込)	
			会員	非会員
<del>7</del>	<del>ランチョンセミナー(11:50~12:30 第二会場 約80席) ○オンライン配信可 ※6 ○第一会場(メインホール)同時中継可</del>	<del>1枠</del>	<del>100,000円</del>	<del>200,000円</del>
<del>8</del>	<del>ランチョンセミナー(11:50~12:30 第三会場 約72席) ○オンライン配信可 ※6</del>	<del>1枠</del>	<del>70,000円</del>	<del>140,000円</del>

※5: ランチョンセミナーとは、セミナー主催者(協賛社)が受講者の昼食(弁当)を無償で提供し、商品プレゼン等のセミナーを聴講いただくものです。協賛金の価格には、会場費及び標準機材費が含まれていますが、受講者の弁当代は含まれておりません。弁当は、指定ケータリング会社のメニューよりお選びいただき、別途お支払いいただきます。

※6: 撮影用カメラ1台(三脚固定)を当方で準備いたします。これ以外の撮影方法のご要望については、事務局までご相談ください。また、オンライン配信(アーカイブ掲示)にあたっては、講師の肖像権等について事前にご確認ください。

#### 【各協賛申し込みについて】

各協賛申込については以下フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/xzsyfcfqCU5sFuogV8>



#### 【注意事項】

申込期日及び広告入稿期日を4月30日(日)とさせていただきます。

## 5. 名刺広告募集について ※受付を終了しました

本研究大会では、抄録冊子への名刺広告掲載を募集いたします。

詳細につきましては、以下のとおりとなります。

#### 【募集対象】

日福協・ふくせんの会員

#### 【募集概要】

広告サイズ: 縦 66mm × 横 47mm

※お申し込み件数により枠サイズの調整を行う場合がございます。

掲載料: 1枠あたり 10,000円(税込)

#### 【名刺広告申し込みについて】

名刺広告申込については以下フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/ouithvLnXaFP4TEb7>



#### 【注意事項】

申込期日を4月30日(日)とさせていただきます。



## 6. その他事項

### 【会場】

KFC（国際ファッションセンター）ホール

所在地：東京都墨田区横網1-6-1 <https://www.tokyo-kfc.co.jp/access/>

※研究大会の翌日は、同一建物内にて日福協及びふくせんの各定時総会開催が予定されています。会場の建物は、「第一ホテル両国」を併設しておりますので、宿泊の際はあわせてご検討ください。<https://dh-ryogoku.com/>



最寄駅：都営地下鉄大江戸線 両国駅（A1出口）徒歩0分  
JR総武線 両国駅（東口・西口）徒歩約7分

#### 会場へのアクセス

●JR両国駅「東口」より徒歩約6分 ●都営地下鉄大江戸線 両国駅 A1出口より直結



本研究大会について、ご不明な点などございましたら下記事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 日本福祉用具供給協会 事務局（担当：伊藤、淡路）

電話：03-6721-5222 FAX：03-3434-3414

email：jimukyoku@fukushiyogu.or.jp



一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 事務局（担当：川口、中村、柳田、池本）

電話：03-5418-7700 FAX：03-5418-2111

email：info@zfssk.com

